

**症例** ……3年間続く不正性器出血（34歳，女性）

不妊症でご主人と共に来られた。中肉中背で子宮筋腫はなく、貧血もない。特に体質的な特徴はない。

付き合ってから5年、結婚して丸3年になるが、結婚直前から少量の不正出血が続いている。この3年間で出血がないのは1年に4～5日くらいのため性行為も1年に2回ほどである。

婦人科でのホルモン剤も無効。漢方薬も当帰芍薬散<sup>とう きしやくやくさん</sup>、桂枝茯苓丸<sup>けいし ぶくろうがん</sup>、加味逍遙散<sup>か みしょうようさん</sup>合四物湯<sup>ごつぶつとう</sup>、温清飲<sup>うんせいいん</sup>などを順次変方し2年は服用したという。

\*

まず芎歸調血飲<sup>きゅうきちようけついでい</sup>第一加減<sup>だいいち かげん</sup>と芎歸膠艾湯<sup>きゅうききょうがいとう</sup>1ヵ月で全く変化なし。そこで四物湯に四君子湯を加えるという意味で十全大補湯<sup>じゅうぜんだい ぼとう</sup>としたが1ヵ月で変化なし。

平素はガスが出なくてお腹が張るが、夜布団に入るとプーと出て気持ち良いという。腸の動きもだが子宮筋の弛緩があり子宮頸部の収縮が弱いのが原因か、と考えた。

升堤作用をもつ補中益気湯に当帰芍薬散を加えた（別の症例で補中益気湯をたくさん服むと子宮脱にも1週間で著効を得た経験がある）。10日ほどで手応えを感じたようで、1ヵ月でずいぶん良くなり、出血のない日の方が多くなった。

その後3ヵ月ほどで妊娠し、妊娠中も同方を続服し出産。

産後は補中益気湯と芎歸調血飲第一加減を3ヵ月間服用した。

\*

「中空臓器の弛緩」と考え、四君子湯加減といえる十全大補湯（四君子湯＋四物湯＋黄耆・肉桂）で無効であったため「升堤作用」も兼ねた補中益気湯を用い奏功した例である。